

農業による観光振興を推進する 地域リーダー育成プロジェクト ～嬬恋アグリカレッジの開校を目指して～



文部科学省の委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」は、社会人の再チャレンジを支援するため、社会ニーズを反映した学び直しのための実践的教育プログラムを開発、実施することを目的とした事業です。地域などと連携しながら社会人のスキルアップを図ることで、地域における産業振興や情報発信力の向上など、地域活性化に寄与することも視野に入っています。

シンポジウム 観光農業への挑戦 ～嬬恋ブランド野菜を活用した観光振興を考える～

◇日時 11月18日(日)午後1時～

◇場所 嬌恋会館 3階大ホール

◇講演内容

①「観光とは何か 嬌恋農業と観光に必要な視点」

講師 明治大学商学部 大友 純 教授

②「嬌恋農業の可能性」

講師 明治大学農学部 竹本 田持 教授

③事例報告

「地産地消のマーケティング 地元の農産物を地元で消費する“全国ブランド”」

講師 (株)桔梗屋代表取締役社長 中丸 真治 氏

④シンポジウム「こんなに素敵な嬌恋村」

コーディネーター 明治大学商学部 水野 勝之 教授

パネリスト 上毛新聞社取締役編集局長 武藤 洋一 氏、

(株)桔梗屋代表取締役社長 中丸 真治 氏、明治大学商学部

大友 純 教授、明治大学農学部 竹本 田持 教授、村長 ほか

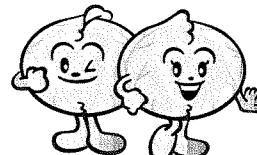
※シンポジウム終了後講座を開催

◇申込・問い合わせ先 政策推進課 ☎96-1257

◇後援 上毛新聞社

全国5つの自治体など（長野県の伊那地域・諏訪地域、和歌山県の南紀地域、鳥取県地域、嬬恋村）において、5つのプロジェクトを実施するもので、嬬恋村では「伝統技術（高原野菜栽培）の指導人材育成プロジェクト」を企画しています。

同プロジェクトでは、嬬恋村にて約4ヶ月間の講座を開講し、皆さんに受講していました。今回は、シンポジウムにあわせて講座も開催します。高齢化に一役かっているだけではありません。原野菜の栽培指導者を目指し、地域の活性化にご参加をお待ちしております。



農業による観光振興を推進する 地域リーダー育成プロジェクト

～嬬恋アグリカレッジの開校を目指して～



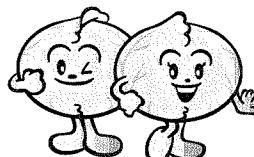
文部科学省の委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」は、社会人の再チャレンジを支援するため、社会ニーズを反映した学び直しのための実践的教育プログラムを開発、実施することを目的とした事業です。

地域などと連携しながら社会人のスキルアップを図ることで、地域における産業振興や情報発信力の向上など、地域活性化に寄与することも視野に入っています。

明治大学が実施する「広域連携による地方活性化のための潜在的な社会参加ニーズ対応労働促進プログラム」は、

全国5つの自治体など（長野県の伊那地域・諏訪地域、和歌山県の南紀地域、鳥取県地域、嬬恋村）において、5つのプロジェクトを実施するもので、嬬恋村では「伝統技術（高原野菜栽培）の指導人材育成プロジェクト」を企画しています。

同プロジェクトでは、嬬恋村にて約4ヶ月間の講座を開講し、皆さんに受講していました。今回は、シンポジウムにあわせて講座も開催します。高齢の皆さんのが参加をお待ちしております。



シンポジウム 観光農業への挑戦

～嬬恋ブランド野菜を活用した観光振興を考える～

◇日時 11月18日(日)午後1時～

◇場所 嬌恋会館 3階大ホール

◇講演内容

①「観光とは何か 嬌恋農業と観光に必要な視点」

講師 明治大学商学部 大友 純 教授

②「嬌恋農業の可能性」

講師 明治大学農学部 竹本 田持 教授

③事例報告

「地産地消のマーケティング 地元の農産物を地元で消費する“全国ブランド”」

講師 (株)桔梗屋代表取締役社長 中丸 真治 氏

④シンポジウム「こんなに素敵な嬌恋村」

コーディネーター 明治大学商学部 水野 勝之 教授

パネリスト 上毛新聞社取締役編集局長 武藤 洋一 氏、

(株)桔梗屋代表取締役社長 中丸 真治 氏、明治大学商学部

大友 純 教授、明治大学農学部 竹本 田持 教授、村長 ほか

※シンポジウム終了後講座を開催

◇申込・問い合わせ先 政策推進課 ☎96-1257

◇後援 上毛新聞社